

みなみ公民館だより 6月号

令和6年6月3日 発行

蕨市立南公民館 蕨市南町 2-23-19 TEL 048-442-4055 FAX 048-443-0761

No.414



【みなみ学園 開校！】

5月20日に令和6年度のみなみ学園が開講いたしました。今年度は昨年度より大幅に申込者が増え、25名での開校となりました。

第1回目の今回は、開講式と「健康けん玉教室」でした。坂井三絵先生、坂井天翠先生の指導のもと、けん玉を利用した体操や、歌とリズム運動、けん玉の技の練習を行いました。

最後にはけん玉検定が行われ、賞状授与が行われました。検定合格した皆様おめでとうございます！今回合格された方も、上手くいかなかった方も、この機会にけん玉に興味を抱いていただければ幸いです。

これから1年間、皆様とのんびり楽しく交流を深めていきたいと思っております。



回	日にち	内容	講師
1	5月20日	開会式／健康けん玉教室	坂井 天翠さん 坂井 三絵さん
2	6月17日	みんなで歌おう 童謡唱歌	白柳 明子さん
3	7月29日	●南公民館 平和事業● ※南公民館で開催される平和事業へご参加いただけます。	安倍 麻理さん
4	9月30日	楽しく脳トレ ～脳を活性化させよう！～	足立 明美さん
5	10月28日	大人の塗り絵 ※完成作品は、生涯学習フェスティバルで展示し、後日お返しいたします。	安倍 麻理さん
6	11月25日	大人リトミック 歌とリズムで脳トレ	笹倉 ゆかりさん 和久 智子さん
7	12月23日	柔道整復師が教える 自宅でできる体のケア	加茂 凌太さん 桜井 悠太さん

※講師の都合等により、日程・内容等を変更する場合がありますので、予めご了承ください。
※発熱・風邪症状など体調の悪い場合は、参加をご遠慮ください。

【お知らせ】

エコキャップ 100個と花の苗 1個を交換する「エコキャップ・花苗交換事業」が **6月10日(月)午後2時から** 南公民館で開かれます。野菜の苗もあります！なお、交換は花苗がなくなり次第終了となります。



講座のご案内

◆小学生～高校生の点字入門教室

日時 6月8日(土) 午前10時～
場所 南公民館 2階団体連絡室
対象 市内の小学生～高校生
※事前にお申し込みが必要です



◆おはなしくまさん

日時 6月15日(土) 午後2時～
会場 南公民館 3階集会室
内容 絵本の読み聞かせや工作
今月は、折り紙を使って です。

◆にこにこ ONE TWO KIDS!

日時 6月13日(木) 午前10時～
場所 南公民館 2階団体連絡室
対象 1歳児・2歳児のお子さんと保護者
定員 8組(先着順)
申込 6月3日(月)～ 電話・メール可

◆0歳児ママのふれあい広場

日時 6月27日(木) 午前10時～
場所 南公民館 2階和室
内容 たなばた
定員 10組(先着順)
申込 6月3日(月)～電話・メール可
※赤ちゃんの下に敷くバスタオルをご持参ください。



くるみ保育園 ～保育園に”おたまじゃくし”が来ました!～

園長 加藤

職員が田舎から“おたまじゃくし”をもってきてくれました。

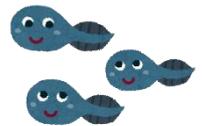
3・4・5歳児クラスと保育園のエントランスに飼育ケースに入れ、子ども達・保護者の方々が、観察できるように置いてみました。

色々な生きものとの触れ合いを経験し、不思議発見ができるように飼育をしながらカエルになる様子を観察していきたいと思います。

同時に命の大切さも学んでいって欲しいと思います。

ほうれん草を食べている“おたまじゃくし”を見て、ビックリする子ども達と職員でした(笑)
また子ども達は、やさしく・・・そ〜っと、手のひらに”おたまじゃくし”を乗せて観察もしていました。

登降園時には、親子で”おたまじゃくし”をのぞき込んで、会話する姿にほっこりさせてもらっています🍄



河鍋暁斎記念美術館 2024年6月展覧会

企画展 国際博物館の日記念 暁斎・暁翠 物語絵の世界 展

同時開催 特別展 暁斎没後135年 『暁斎画談』で振り返る暁斎の逸話 展

※新型コロナウイルスの感染防止対策等により、予定が急に変更される場合がありますので、最新の情報は美術館のホームページでご確認ください。 <http://kyosai-museum.jp>

会期：2024年5月1日（水）～6月24日（月）

休館日：毎週火・木曜、毎月26日～末日、年末年始

入館料：一般600円、高校生・大学生500円、小・中学生300円、65歳以上500円

第1・2展示室では、昔話でおなじみの桃太郎が鬼を征伐した場面を暁斎ならではの視点で描いた掛軸の「桃太郎鬼征伐之図」や、暁斎の娘の暁翠が、平安時代の2人の才媛を描いた掛軸作品「紫式部・清少納言図」なども展示中です。

第3展示室では、明治20年（1887）に出版された暁斎の自画伝『暁斎画談』の中から、よく知られた逸話と挿絵をパネルで紹介する特別展をご覧いただいています。

【 今月のお勧め作品 】

見立 女三宮（みたて おんなさんのみや） 暁斎（署名：惶々暁斎） 錦絵

『源氏物語』「若菜上」の中に、室内にいた猫が外に向かって走り出た拍子に御簾（みす）が上に引き揚げられ、光源氏の若い正室・女三宮の姿があらわとなり、その姿を見た青年貴族の柏木が、女三宮に恋をしてしまうという場面があります。本図はその場面を、七福神の大黒天を柏木に、恵比須を柏木の友で源氏の息子の夕霧に見立て、にこやかに蹴鞠（けまり）をする戯画として描いた作品です。原作では猫だった動物は大黒天の使いのねずみに代えられ、女三宮に見立てられた福女は、御簾の陰から笑顔で外を眺めています。原作のその後の悲劇的な展開とは打って変わり、華やかでおめでたい作品に仕上げられています。

